

令和7年度第2回春日井市道風記念館運営協議会議事要旨

1 開催日時 令和8年3月17日(木)午後2時～午後3時

2 開催場所 道風記念館 展示室兼会議室

3 出席者 会長 安達健治

委員 大池茂樹

川本操代

野田晴義

日比野典子

水谷栄太郎

いきがい創生部長

塚本滋

文化スポーツ振興課長

田中芳樹

道風記念館館長

白石大介

上席学芸員

落合哲

主査

鈴川宏美

主事

石井彩由美

傍聴者 なし

欠席者 委員 河本金弘

武内峰敏

山本祐子

4 議題 (1) 令和8年度事業計画について

(2) 次回の特別展について

(3) その他

5 会議資料 (1) 令和8年度事業計画について

(2) 次回の特別展について

6 会議内容

- (1) 委嘱状交付
- (2) 新任委員あいさつ
- (3) 部長あいさつ
- (4) 会長選出
- (5) 会長あいさつ
- (6) 職務代理人指名
- (7) 議事

7 議事内容

(1) 令和8年度事業計画について

令和8年度事業計画について説明した。次のような質疑応答・意見があった。

野田委員 ・ 予算削減で苦勞しているようだが、例えば、講座や道風の書臨書作品展の募集、子どものワークショップ、入館料等の収入の現状はどのようになっているか。

事務局 ・ 道風記念館講座は、公民館講座と差が出ないよう、同等の価格設定をしており、1回あたり250円程度で算定している。道風の書臨書作品展の出品料は、第1回から無料で受け付けており、作品展の特徴の一つである。子ども向けワークショップも、無料で開催している。入館料は、特別展開催時期のみ一般500円となるが、その他の時期は一般100円を徴収している。今までにも、入館料についての議論は、運営協議会の場でも何回か出たことがあるが、博物館法では、公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない旨が明記されているため、本来は無料であることが前提となっている。全国の

美術館や博物館でも、収蔵品展、館蔵品展、コレクション展では徴収されることがなかったり、安価であったりするため、そういった意味でも入館料はできる限り安価での設定にしておきたいところである。

野田委員 ・無料であることは、利用する側としてはありがたいことではあるが、予算削減で特別展等の開催回数が少なくなってきたるのであれば、どこかで見直したほうが良いのではないか。

塚本部長 ・貸館料は令和8年度に向けて見直しを行っている。入館料、講座料等はこれから検討する必要がある。道風記念館は、春日井市は書のまちであるということを発信する施設であるため、料金は取るべきではないと考えている。また、道風の書臨書作品の出品料に関しても、市外からの出品者から出品料を徴収するという意見もあったものの、春日井市を書のまちとして発信するにあたっては、市内と市外で格差をつけるわけにはいかないと考える。無料だからこそ多くの出品があるとも認識している。一方で収益を得なければいけない現状は事実である。春日井市民文化財団が主催している道風展においてクラウドファンディングを試験的に導入したところ、予想以上に多くの書に関心のある方々から支援をいただいた。そういった手段を検討していく必要もあるだろう。

水谷委員 ・常設展について、解説がわかりやすくなったり、キャプションが大きくなったりと展覧会に改善や工夫がみられ、みる側にとってありがたい展示となっている。新たに2階に設置された、展覧会に関連した図書コーナーなど、見る側に寄り添った取り組みが増えており、良いと思う。

・企画展「書の魅力」では、講演会の開催が予定されている

など、予算削減で苦労がある中でもいろいろと工夫をしているようだ。企画展「書の魅力」の目的である書の鑑賞法を広く伝えるというのは、館にとって大切なことである。頑張ってもらいたい。

- ・アンケート結果について質問がある。各設問において「その他」の回答割合が多いと感じる。「その他」の分析ができるとより良いのではないか。質問内容をもう少し精査しても良いのではないか。

事務局

- ・アンケートの「その他」に関して、本資料には添付していないものの、自由記述で様々な回答が得られている。2階展示室で展示があった県下児童生徒揮毫大会の観覧者や、JRさわやかウォーキングの参加者が大変多かったため、このような結果が出ている。

安達会長

- ・次回から、アンケート結果の「その他」の内訳がわかるような資料追加があるとよいと思う。

川本委員

- ・講座内容が魅力的に感じ、委員である私でも参加してみたいと思えた。例えば、連続講座であると出席できない日も出てくるのではと考えられる。その場合はどのように対応をしているのか。1回でも受講できるのか。

事務局

- ・連続講座は本来、複数回受講することで完結するものである。講師にも配慮して、講座に当選された方はできるだけ出席をしてほしいと考えているため、1回のみ参加の方はお断りしている。

日比野委員

- ・豊川市と東海市から道風記念館に行かれた方から、道風記念館の図書資料についての対応がよかったとの声を聞いた。お二方とも、とても喜ばれていた。

事務局

- ・当館としても、来館者に対して行える限りの対応をしている。

- 大池委員 ・書道関係の図書が充実していると思う。図書資料のリストなどはあるか。また、どのような対応をしているか。
- 事務局 ・図書資料の貸し出しはしていないが、閲覧サービスは行っている。図書資料の閲覧のみを希望する場合は、入館料を無料としている。一部施錠している書架もあるため、閲覧の際は受付票を記入してもらい、閲覧していただいている。近年寄贈が多く、整理が追いついていないため図書資料全てを掲載した一覧表は作成できていないが、整理が完了した図書の一覧表はお渡しできる。
- 安達会長 ・春日井市図書館に書道に関する図書のコーナーがある。自身でも他の地域図書館へ赴くことがあるが、地域図書館としてはかなり充実しており、他に類を見ないもので、春日井市の誇りである部分であると思う。春日井市図書館では、図書資料等の検索をすることが可能である。図書館蔵書の書道関連図書目録も作成していた。現代においては、紙での目録よりも、インターネット上で公開できるとよいと思う。
- 水谷委員 ・登録博物館への申請にあたって、道風記念館で整備する必要があるものはあるか。
- 事務局 ・県内の博物館で登録を順番に進めていく計画があり、令和8年度に道風記念館の順番が回ってくる予定となっている。今回の申請は登録制度自体が変わったことによるもので、登録博物館の申請にあたって必要な整備はないと思う。

(2) 次回の特別展について

次回の特別展について説明した。次のような質疑応答・意見があった。

- 水谷委員 ・特別展の関連事業は何を予定しているか。
- 事務局 ・講演会の開催を予定しているほかは未定の状態である。

(3) その他

事務局

- ・別添資料で配付したアンケート結果の補足を行いたい。
アンケートは展覧会ごとに集計し、全体をまとめて集計したものを本資料としている。アンケートを手渡ししてお願いをすると、回収率が高くなる傾向にあることがわかっているため、できるだけそのようにしてアンケートの記入をお願いしている。来館者の傾向としては、市外からの来館が多い。市内の来館者を増やすために努力は必要ではあるが、チラシやポスターを見て道風記念館や展覧会を知った市外の来館者が多いことも同時に見てとれる。実際に展覧会場で実物を目にする展覧会に行こうと思う層へのアプローチとして、手に取れるチラシでの広報は有効であると考え。チラシ等によって全国的にPRができてきている状態であるといえる。
- ・今後も効果的に広報を進めていくに伴い、道風記念館公式SNS開設の検討をしている。今まで道風記念館ホームページやYouTube等で投稿をしているが、より幅広い層にアプローチしていく必要があると考えている。

野田委員

- ・市内の来館が少ないとのことであるが、例えば市内の小学校に道風記念館を校外学習等の目的地のひとつとして選んでもらえるように働きかけてみてはどうか。教育委員会等と連携しながら、道風記念館だけでなく、市役所内のいろいろな課と連携を取り、市全体で「書のまち春日井」の取り組みを展開できないだろうか。今年、市内学校の見学はあったか。

事務局

- ・以前は、小学校の館内見学があったが、年々減ってきている。減少傾向になってきた段階で、コースを設定するなど

して教員へ何度も働きかけたが、効果が薄かった。来ていただけない理由としては、市内であってもバスをチャーターする必要があるほどアクセスが悪い点が挙げられる。バスをチャーターするのであれば、市内よりも市外へ出てより大きく充実した施設・工場等へ見学に行った方が良いという意見があった。また、小学校1年生から毛筆を持つ、春日井市特有の書道科の創設に伴い、カリキュラムが限定されてしまい、学校外に出られなくなっているという意見もあった。

野田委員 ・道風記念館に行くこと自体に意味があると思う。見学が増えると良い。

以上のとおり春日井市道風記念館運営協議会の議事の経過及びその結果を明確にするために、この議事要旨を作成し会長及び出席委員1名が署名する。

令和8年3月31日

会 長 安 達 健 治

委 員 野 田 晴 義